KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

投資家向け会社説明資料

加賀電子株式会社

2022年3月24日

目次

- 会社プロフィール　P- 3 ~ 9
- 中期経営計画 2024　P-11 ~ 18
- 電子部品事業について　P-20 ~ 21
- EMS事業について　P-23 ~ 34
- サステナビリティ中長期経営計画　P-36 ~ 39
- 2022年3月期 第3四半期決算・業績予想　P-41 ~ 50
- 最後に　P-52

会社プロフィール

独立系、ワンストップサービスのエレクトロニクス総合商社

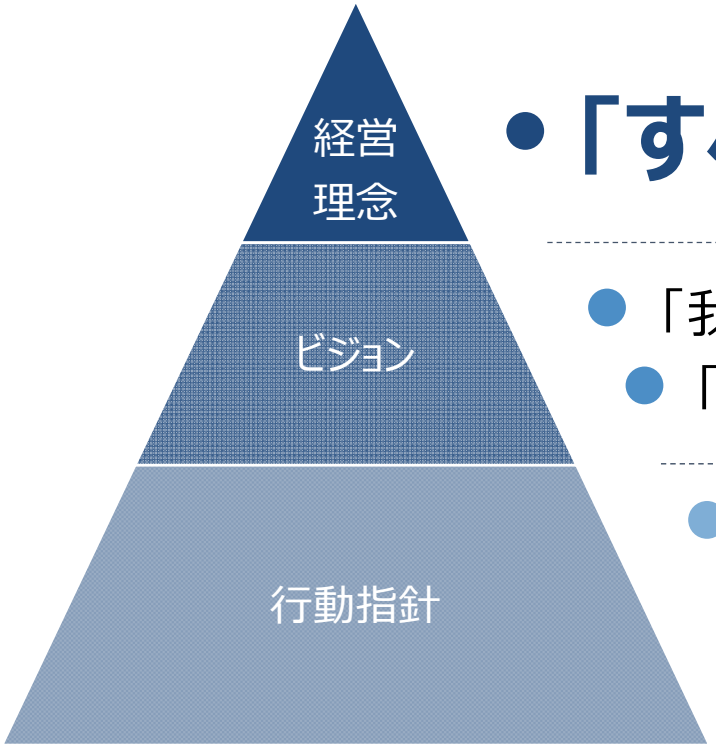
会社名	加賀電子株式会社
代表者	代表取締役会長　塚本 勲 代表取締役社長　門 良一
本社所在地	東京都千代田区神田松永町20番地
設立	1968年（昭和43年）9月12日
資本金	121億33百万円
上場市場	東証１部（証券コード：8154） ※2022年4月より「プライム市場」へ移行
グループ会社数	65社（2021年12月31日現在）
連結従業員数	7,669名（2021年12月31日現在）

創業者・
代表取締役会長
塚本 勲

代表取締役社長
門　良一

加賀電子のフィロソフィー

「すべてはお客様のために」―加賀電子は創業以来、お客様の声をとことん聞き、お客様のご要望にひたすら応えていくことで、電子部品や半導体のキッティングから加工・製造へと展開したEMSビジネス、そして完成品の販売を行う情報機器ビジネスへと事業領域を拡大してきました。これからも、「我が国業界No.1の企業」そして「グローバル競争に勝ち残る企業」を目指し、果敢に挑戦し続けてまいります。



- **「すべてはお客様のために」**

- 「我が国業界No.1企業を目指す」
- 「グローバル競争に勝ち残る企業を目指す」

- 「F.Y.T.」: 変化に柔軟に、常に若々しく、果敢に挑戦
- 「3G」: あらゆるものを、グローバルに、総合力を活かして
- 「加賀イズム」: 経営マインド、営業マインド、社会人としての心構え

加賀イズム

会社設立以来、創業者や諸先輩の経験に裏打ちされた宝とも言うべき数多くの『語録』。
日々の競争を勝ち抜いていくための我々の行動の『拠り所』として、将来にわたって継承されるDNA。

加賀イズムの３本柱	基本精神
１．経営マインド 「全員が経営者」であるという意識をもった行動	1-1. 壮大な夢と強い想いをもった経営者たれ
	1-2. ハングリー精神をもってチャレンジし続ける
	1-3. 強い想いをもって、まずは行動
２．営業マインド 「商社マン・ビジネスマン」としてもつべき意識と行動	2-1. TAXAN努力し、TAXAN儲けてTAXAN幸せになる
	2-2. 人脈は無形の財産
	2-3. 常に、旺盛な好奇心を持ち続ける
３．社会人としての心構え 社会人として仕事を進める上での意識と行動	3-1. 自己研鑽
	3-2. 信賞必罰
	3-3. 公明正大

沿革

≪1968年≫
資本金100万円で
「加賀電子株式会社」設立
(東京都千代田区外神田)

«1981年　海外進出»
TAXAN（USA）
アメリカ合衆国に設立

«1992年　EMS事業を開始»
KAGA（H.K.）
香港に設立

«2014年»
創業の地、東京・秋葉原に
新本社ビル建設

コダック社製品の
国内総販売代理店権獲得

アップル社製品の
国内販売事業開始

家庭用ゲーム機
事業開始

アップル用
自社ブランドモニター
「KG-12」発売

インベーダーゲーム
ブーム到来

CBトランシーバー
ブーム到来

売上高5,000億円
（中期経営計画目標）

加賀FEI（旧：富士通エレクトロニクス）をグループ会社化

売上高 2,500 億円突破

売上高 1,000 億円突破

東京証券取引所
市場第一部昇格

東京証券取引所
市場第二部上場

売上高 500 億円突破

売上高 100 億円突破

（億円）

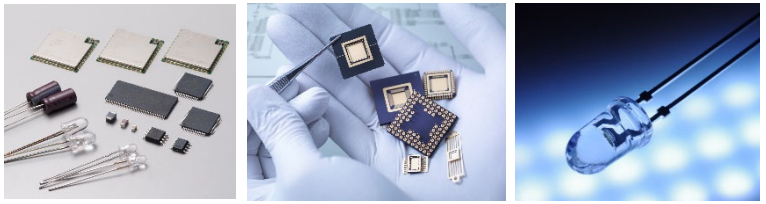
6000
5000
4000
3000
2000
1000
0

'69 '70 '71 '72 '73 '74 '75 '76 '77 '78 '79 '80 '81 '82 '83 '84 '85 '86 '87 '88 '89 '90 '91 '92 '93 '94 '95 '96 '97 '98 '99 '00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22

加賀電子

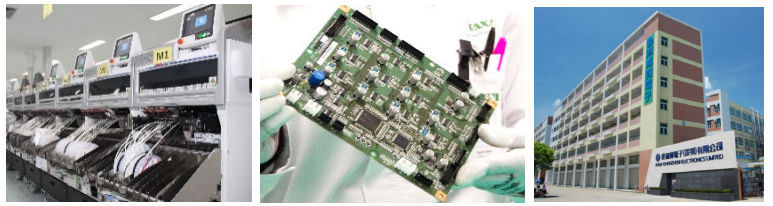
加賀電子グループの強み-①：総合力（事業領域）

電子部品・半導体ビジネス



国内外のお客様へ、一般電子部品・
半導体等の販売代理店活動

EMSビジネス



完成品から半完成品まで設計開発製造
のトータルサポートを実施

情報機器ビジネス

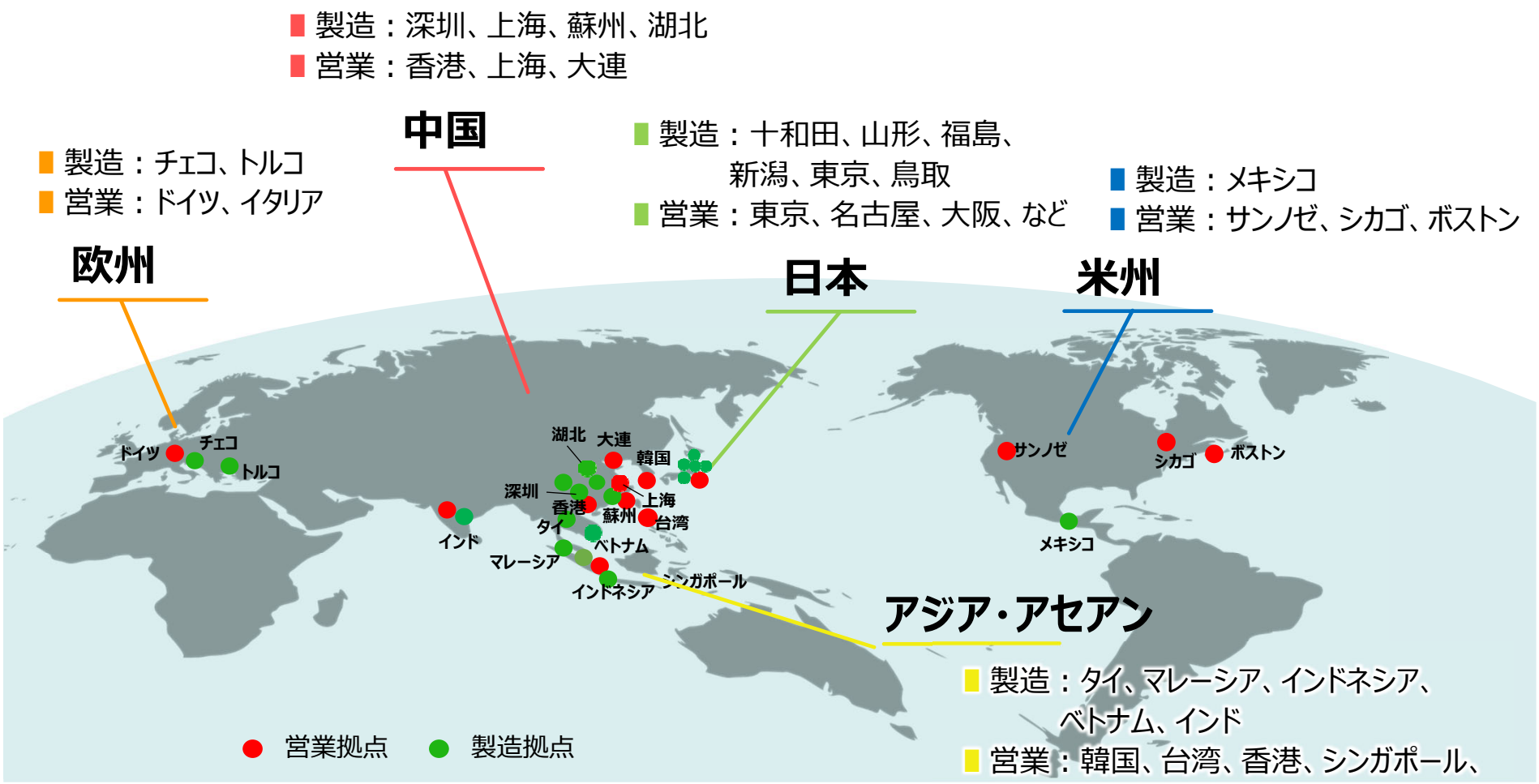
PCや周辺機器を国内外の流通チャネルに供
給、及びネットワークソリューション分野への対応

ニュービジネス

アミューズメントに関する製品・ソフト開発及び
製造販売およびゴルフ用品販売事業ほか

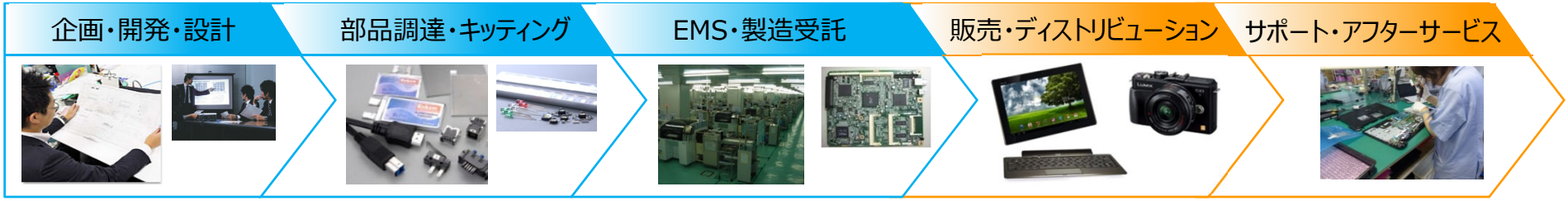
加賀電子グループの強み-②：グローバル

10ヶ国/21拠点に展開するEMSグローバル生産体制で、顧客ニーズに迅速且つ柔軟に対応します。



加賀電子グループの強み-③：ワンストップ

製造受託に留まらず、**企画・開発から販売・販売後サポートまでワンストップ**で対応できるグループ総合力



加賀電子

加賀デバイス

加賀ソルネット

加賀アミューズメント

デジタル・メディア・ラボ

エー・ディーデバイス

加賀テック

エクセル

加賀マイクロソリューション

加賀アミューズメント

加賀スポーツ

エクセル

加賀EMS十和田 / 旭東電気

加賀テクノサービス

サンコーエンジニアリング

加賀FEI（旧：富士通エレクトロニクス）

KAGA FEI AMERICA

加賀電子（大連）
KAGA（台湾）

TAXAN MEXICO

KAGA COMP(MALAYSIA)

加賀電子（上海）/ KAGA (H.K.)

KAGA (THAILAND)/KAGA(VIETNAM)

KAGA (SINGAPORE)

KAGA（INDIA）

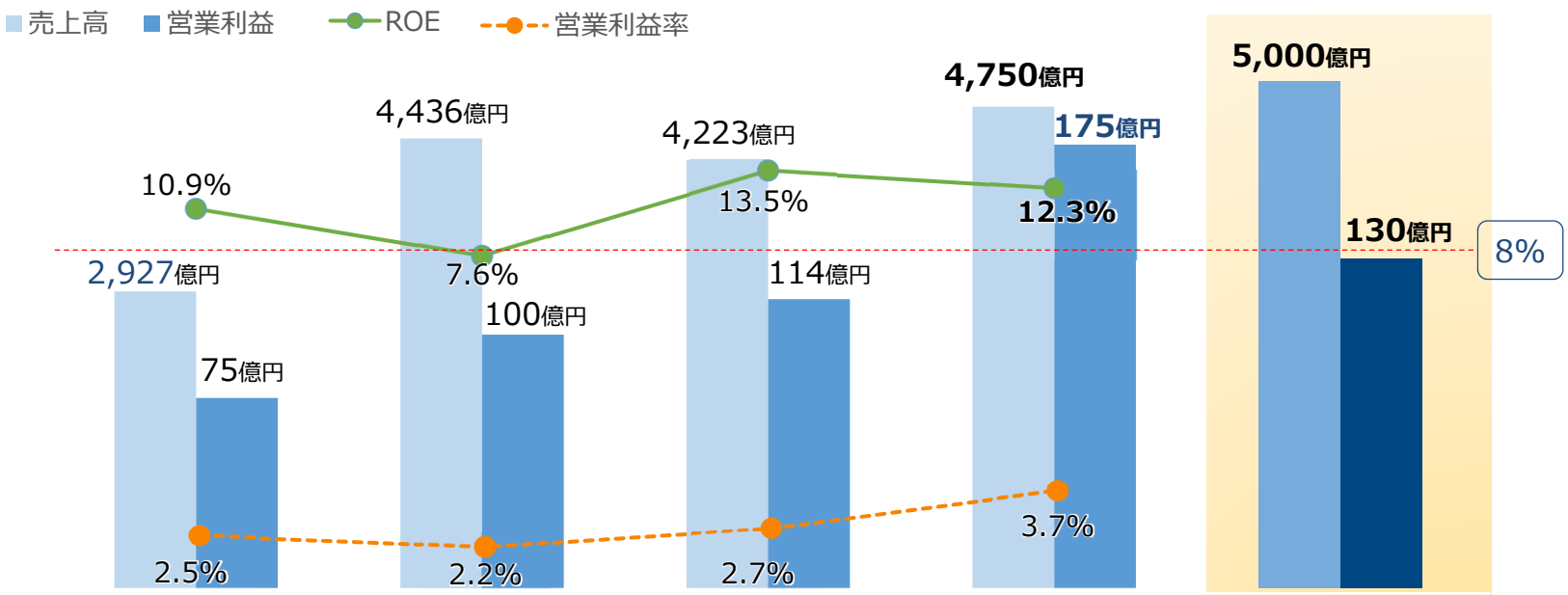
KD TEC（チェコ）、KD TEC Turkey（トルコ）

中期経営計画2024（2022 - 2024）

（2021年11月25日公表資料より抜粋）

『中期経営計画 2021』の振り返り：経営数値

「利益重視の経営」を徹底し、売上高は大口商権喪失で未達も、営業利益・ROEは超過達成の見通し



	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 予想	2021年度 経営目標
売上高	2,927億円	4,436億円	4,223億円	4,750億円	**5,000億円**
営業利益	75億円	100億円	114億円	175億円	**130億円**
ROE	10.9%	7.6%	13.5%	12.3%	**8%以上**

中期経営計画2021（2019~2021）

『中期経営計画 2024』経営目標

自律的成長+新規M&Aで持続的な成長を実現

	2021年度	2024年度経営目標	
	業績予想	自律的成長	新規M&A織り込み
売上高	4,750 億円	6,000 億円	7,500 億円
営業利益	175 億円	200 億円	

株主資本コスト（7~8%）を意識しつつ、

ROE	12.3 %	安定的に 8.5 %以上維持

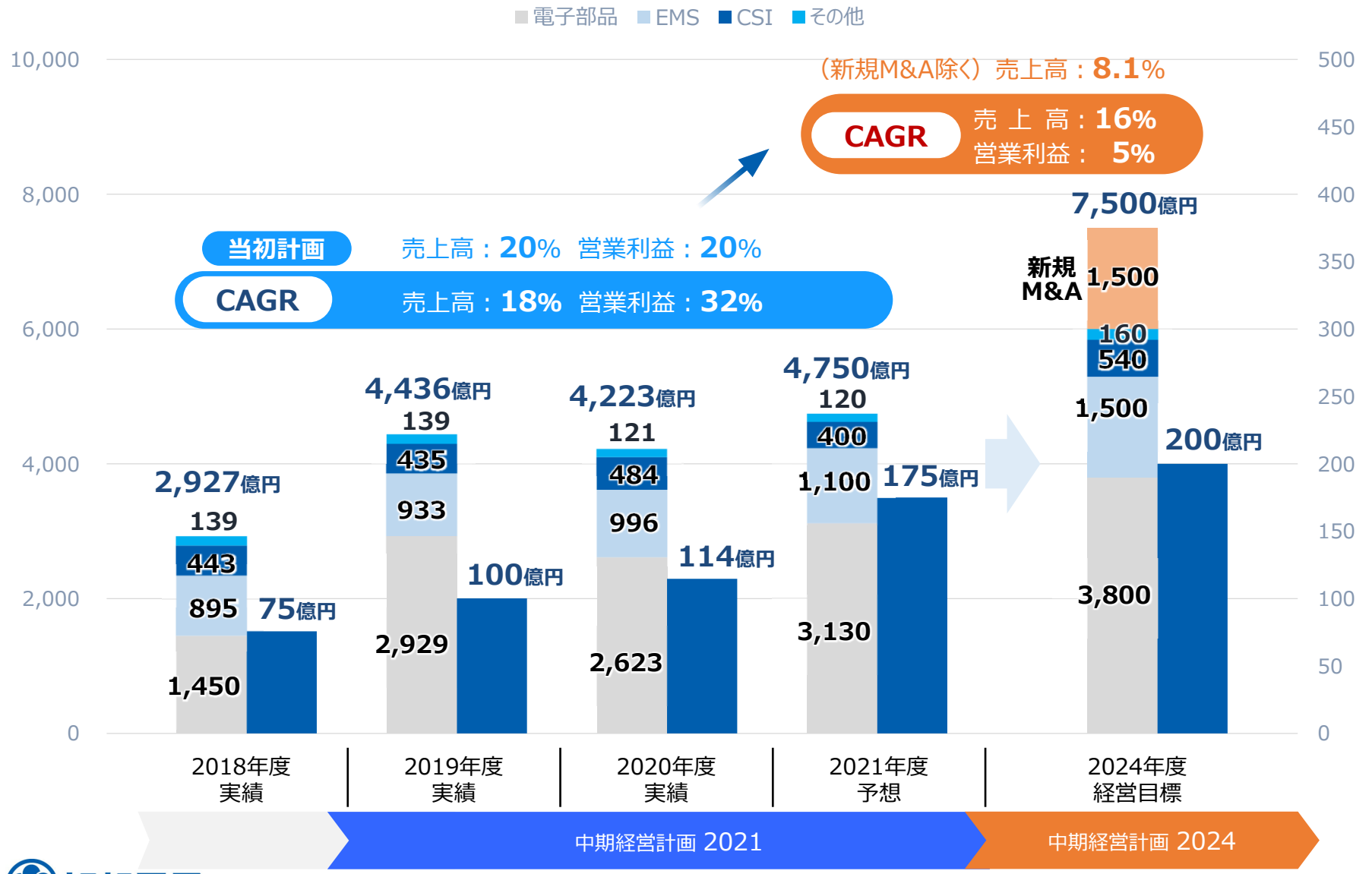
『中期経営計画 2024』基本方針

基本方針と重要課題/アクション

更なる収益力の強化	時代を先読みし、**高い成長性や収益性が見込める市場に注力**	• 成長分野への選択と集中 「モビリティ」「通信」「環境」「産業機器」「医療・ヘルスケア」 • EMSビジネス、海外ビジネスの強化・拡大
経営基盤の強化	更なる効率性、健全性を追求し、**“我が国業界No.1企業”に相応しいグループ経営基盤へ変革**	• コーポレートガバナンスの強化 • 効率的なグループ経営 • 人的資本への投資
新規事業の創出	ベンチャー投資やM＆Aを積極的に活用して新たなビジネスを創出し、**外的環境変化への耐性を強化**	• 新規分野への取り組み • ベンチャー投資によるオープンイノベーション推進 • 非連続な成長を狙うM＆Aの挑戦
SDGs経営の推進	**「社会課題の解決」と「企業としての持続的成長」の両立**を目指した経営を推進	（詳細は、『サスティナビリティ中計』へ）

『中期経営計画2024』事業ポートフォリオ

CSI･･･コンシューマー＆システムインテグレーター



４事業の基本戦略

	2024年度売上目標	重点施策
電子部品事業	3,800 億円	• 産業機器向けビジネスの拡大 • 車載市場への新規商材展開 • 通信分野における商材拡充
EMS事業	1,500 億円	• 顧客基盤の強化・拡大 • 高付加価値領域へのバリューチェーンシフト • 事業基盤の強化
CSI事業	540 億円	• 新規商材・サプライヤ、新規販売ルートの獲得 • グループ内の協業推進と重複組織の統合
その他事業	160 億円	• 不採算事業の見直し • ベンチャー投資、M&Aによる新規事業の創出

『中期経営計画2024』サマリー

成長戦略を支える健全な財務基盤

借入れ余力

▲ ネットD/Eレシオ： **0.04 倍**

▲ キャッシュポジション：**401 億円**

▲ コミットメントライン： **150 億円**

(2021年9月末)

キャッシュ創出力

▲ 3ヵ年営業CF合計： **308 億円**

(2018年度~2020年度)

▲ キャッシュの使途： **①成長投資**
②株主還元
③借入れ返済

資本効率

▲ ROE：**13.5 %** ＞ 株主資本コスト7.6%*

(2020年度実績)

＊算出の前提

①無リスク利子率　　：0.02%/10年国債5年平均利回り
②マーケットリスクプレミアム：6.3%/TOPIX利回り
③β（ベータ）　　：1.2%/5年・週次

安定性と信用格付け

▲ 自己資本比率： **39.6 %**

(2021年9月末)

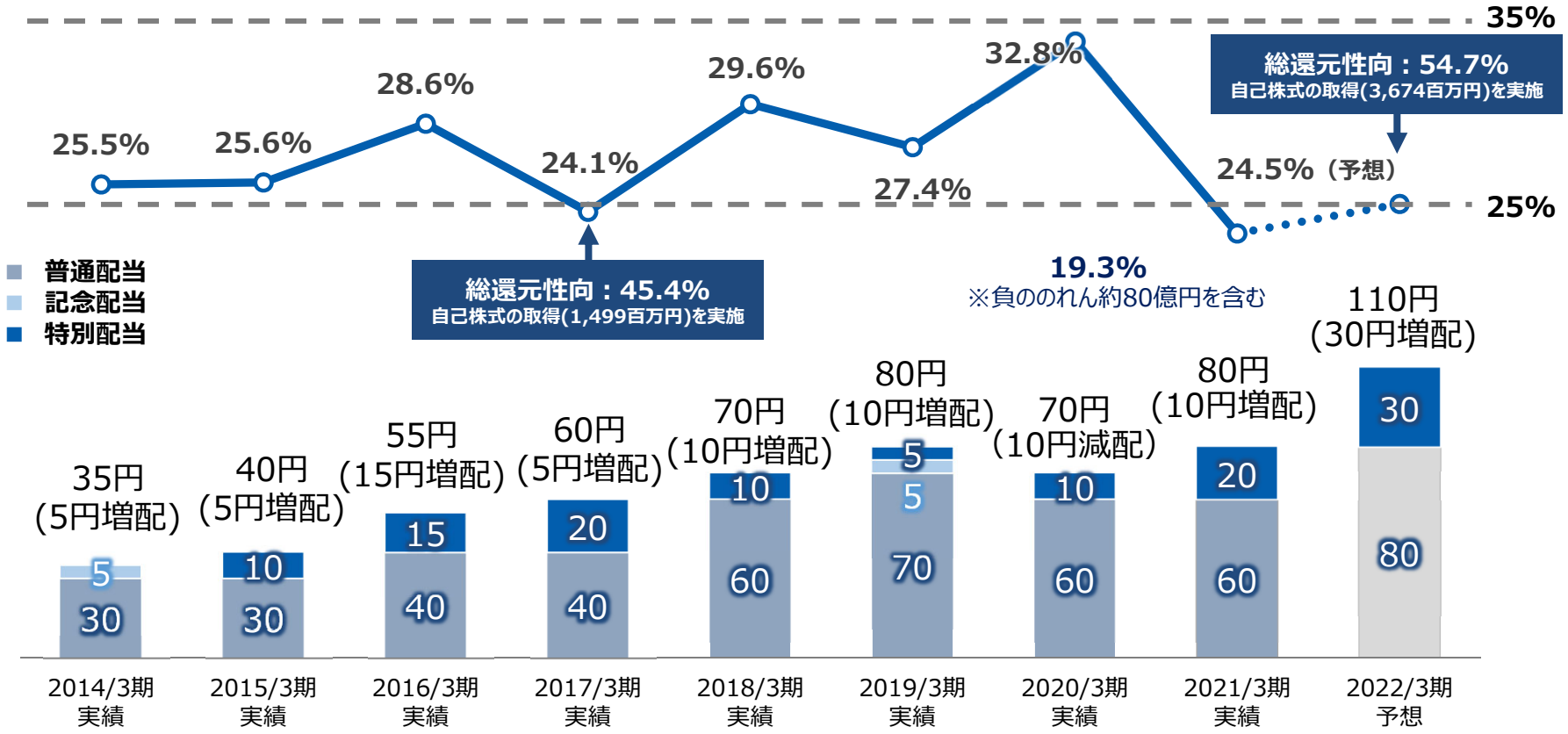
▲ 債券格付け： **A- (安定的)**

(㈱日本格付研究所)

株主還元の考え方

利益配分に関する基本方針

- **連結配当性向25～35%**を確保しつつ、**安定的な配当**を実施する。
- 将来成長に資する**事業投資・設備投資、M&A**等に活用する。
- **自己株式の取得**は、資本効率・株価等を勘案し、適切に判断する。



加賀電子グループの
電子部品事業について

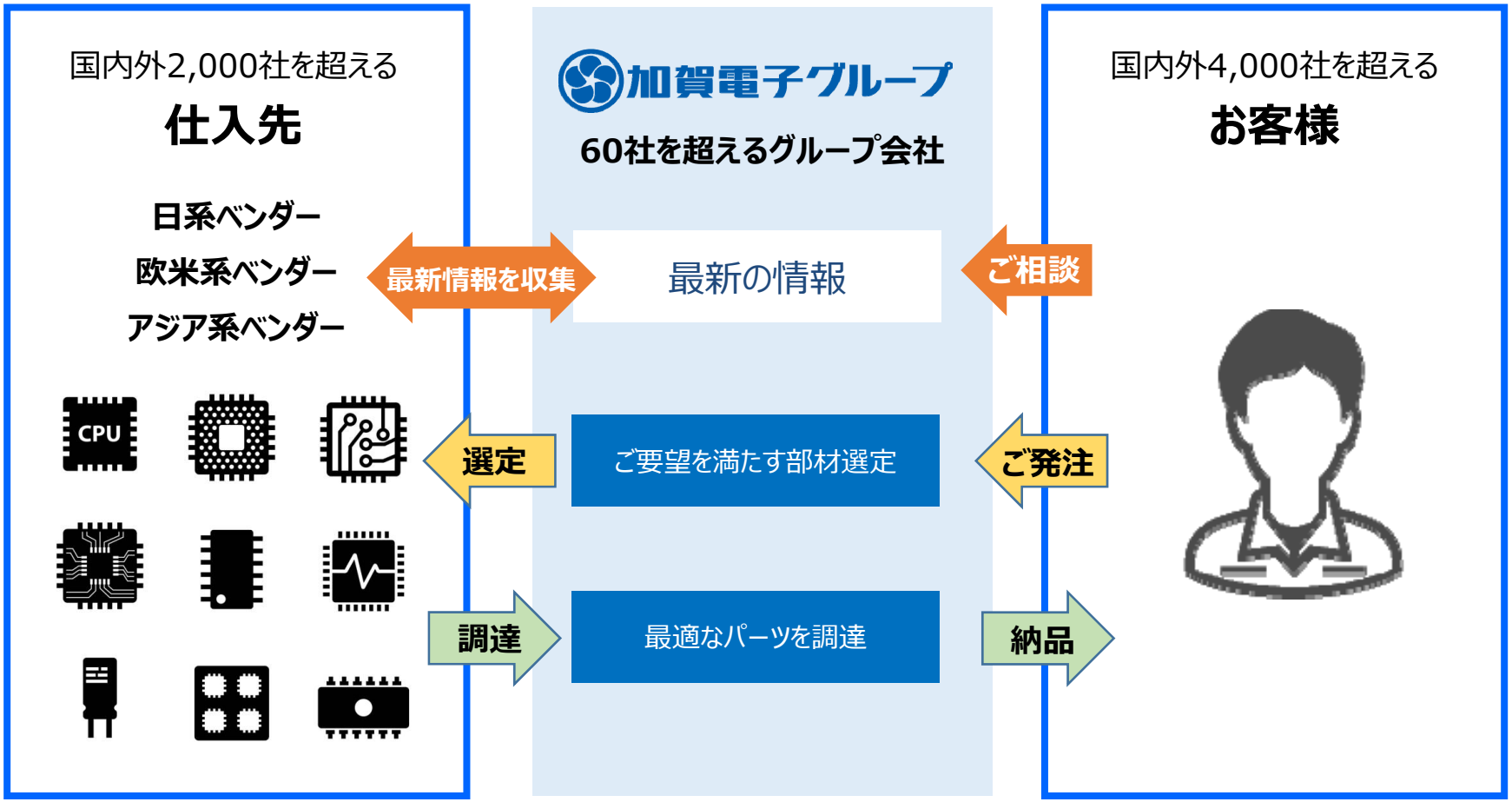
加賀電子の電子部品事業の強み

どのメーカーにも属さない「独立性」、世界中に展開する「グローバル性」、技術者チームの「専門性」が強みです。

独立系のアドバンテージ	独立系商社だからできる調達力、50年培った信頼とノウハウ。	• 加賀電子の仕入先は国内外2,000社、お客様は4,000社を超え、直接取引しています。 • 取り扱い商材に制限がない独立系商社の強みを活かし、世界中の仕入先とお客様を結びつけ、最良の品を最適な形で提供します。
グローバルネットワーク力	時代を先読みする情報収集力、多彩な領域のグループ力を駆使。	• 北米、欧州、アジアなど、世界各地に60社を超えるグループ会社のネットワークを活かし、最新の知見、情報もいち早く収集し、お届けします。 • 現地法人によるサポート体制も万全。ご希望の地域でご要望にお応えします。
テクニカルサポート体制	経験豊富な技術者チームに任せる。信頼から生まれる万全の体制。	• 最新技術に精通したFAE（フィールドアプリケーションエンジニア）が、実績に裏打ちされた信頼とともに最適な製品をご提供します。 • 情報の少ない最先端のベンチャー商品も徹底した技術サポートで安心してご利用いただけます。

電子部品事業のビジネスフロー

グループネットワークを活用した最先端の情報網・部材調達体制で、お客様に最適な解決策をお届けします。

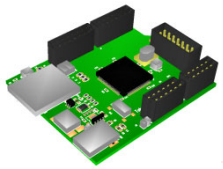


加賀電子グループの
EMS事業について

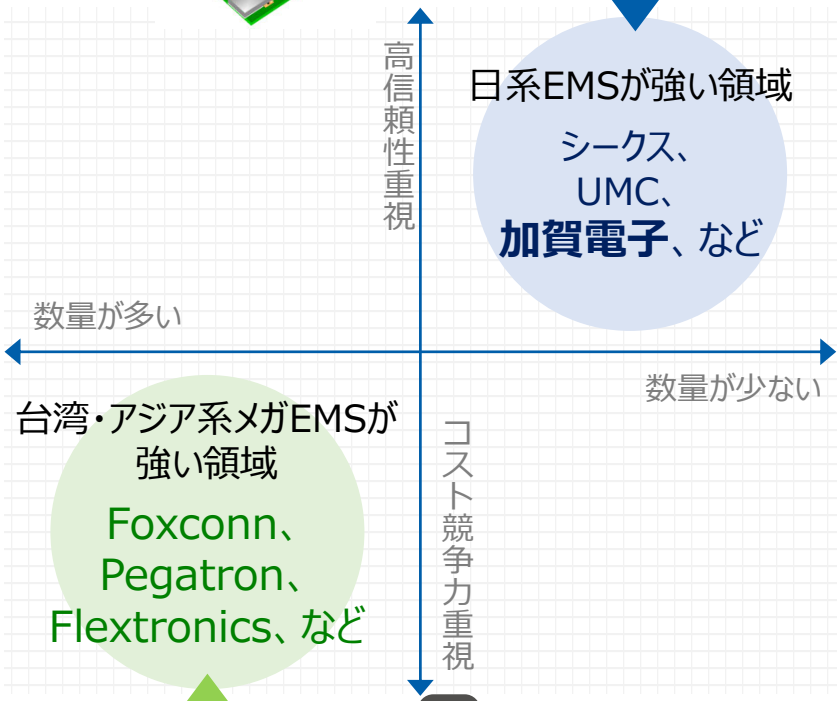
加賀電子のEMS事業の強み

加賀電子はお客様にとって便利で価値ある「コンビニ型EMS」をグローバルに展開しています。

日系EMS vs 台湾・アジア系EMS

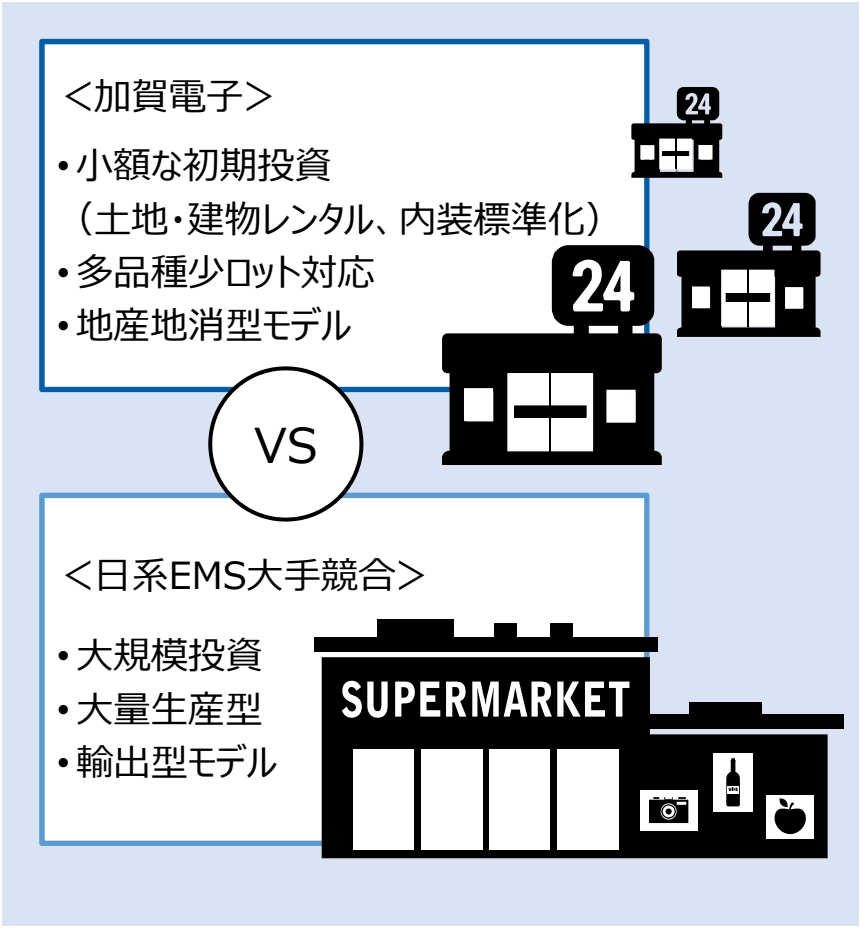


基板実装がメイン



完成品組立がメイン

コンビニ型EMS vs GMS型EMS



加賀電子

主要生産拠点のご紹介：中国

港加賀電子（深圳）有限公司

設　　立	1999年
従業員数	950名
生産品目	車載関連製品、産業機器、事務機器、 アミューズメント機器、通信機器

＜深圳工場＞

加賀沢山電子（蘇州）有限公司

設　　立	2009年
従業員数	360名
生産品目	車載関連製品、医療機器、産業機器、 住設関連製品、電子楽器、通信機器

＜蘇州第1工場（輸出用）＞

主要生産拠点のご紹介：アセアン

KAGA ELECTRONICS (THAILAND)

設　　立	2002年
従業員数	914名
生産品目	車載関連製品、事務機器、空調機器、産業機器

<タイ第1工場>

KAGA ELECTRONICS (VIETNAM)

設　　立	2017年
従業員数	120名
生産品目	車載関連製品、空調機器、事務機器、医療機器

<ベトナム工場>

主要生産拠点のご紹介：欧州・米州

KD TEC

設　　立	2009年
従業員数	112名
生産品目	空調機器

<チェコ工場>

TAXAN MEXICO

設　　立	2017年
従業員数	324名
生産品目	車載関連製品、事務機器、産業機器

<メキシコ工場>

主な生産品目：車載関連機器

電動コンプレッサーユニット

ACインバータユニット

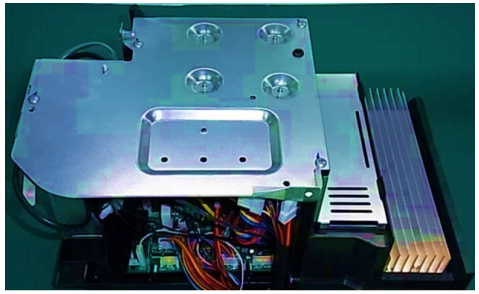
カーナビゲーション

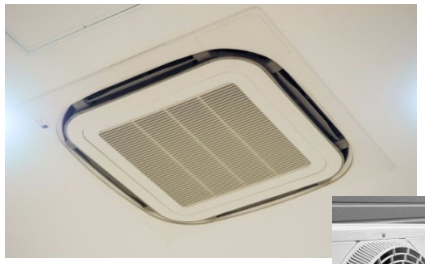
車載用照明ユニット

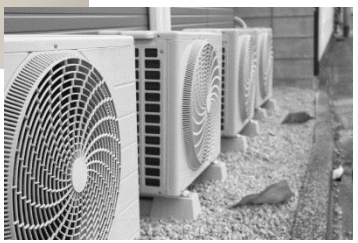
車載用補助電池パック

主な生産品目：空調機器・産業機器

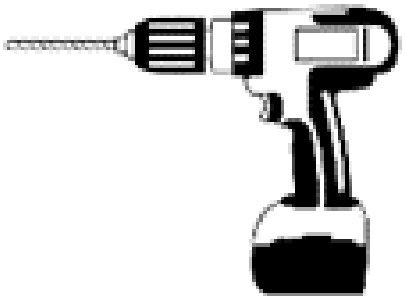
空調機器関連ユニット







電動工具関連製品



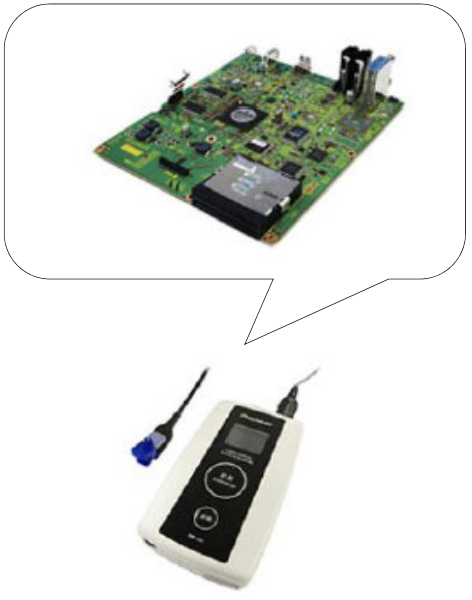
主な生産品目：医療機器・医用検査機器

医療関連機器

＜薬保管キャビネット＞

医用検査機器

＜試薬検査機器＞



＜血流検査機器＞

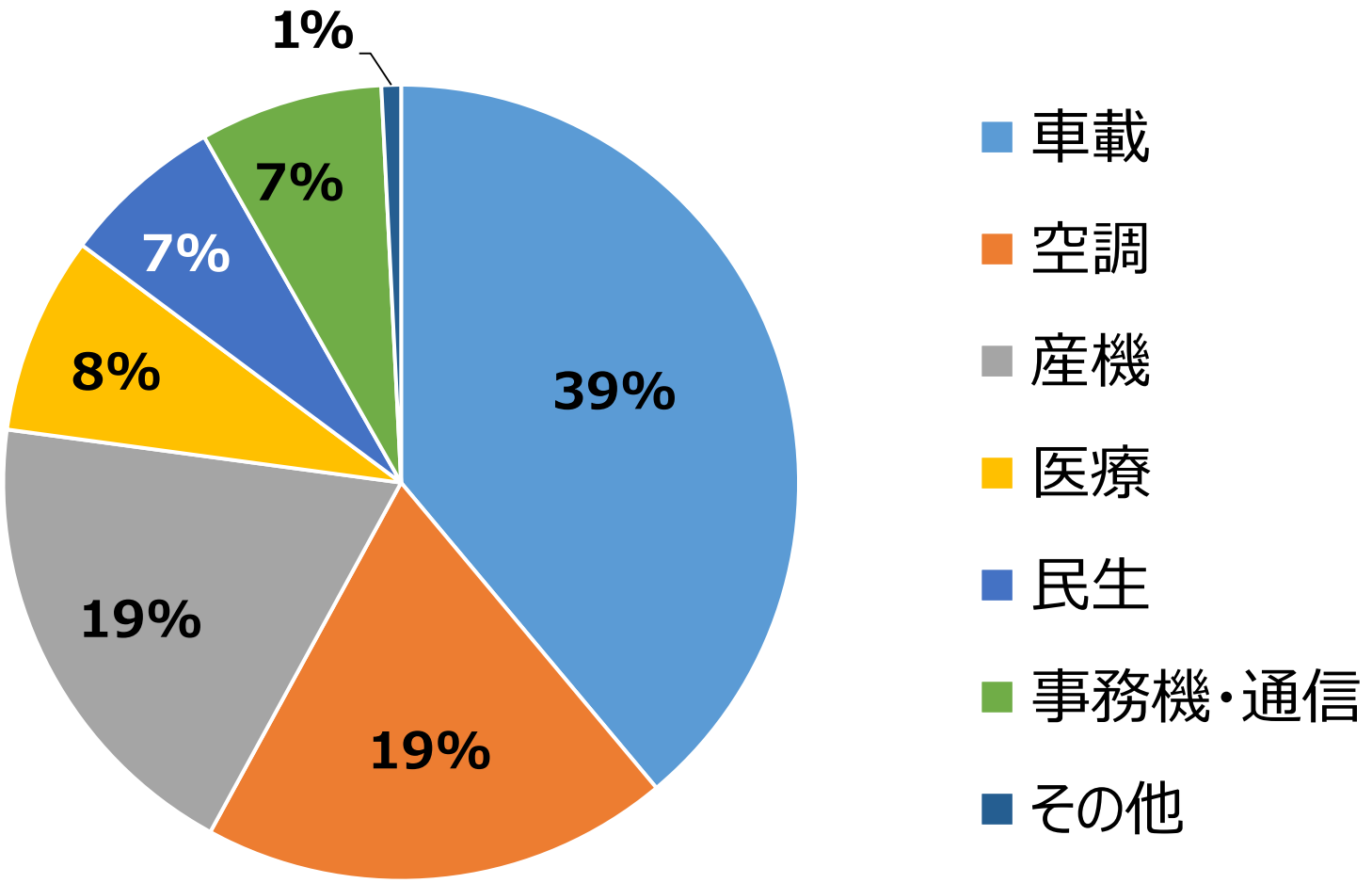
主な生産品目：民生用電気機器・事務機器

洗浄便座

事務機器

EMS事業のアプリケーション別売上構成

2022年3月期売上高見通し：1,100億円



EMS事業の競争力強化策-①：生産能力の増強

米中貿易問題長期化に伴う“中国からの生産移管”の動き、為替変動や人件費高騰を回避する製造業の“国内生産回帰”の動きに柔軟且つ機動的に対応します。

福島新工場

事業内容

通信機器、PCおよびPC周辺機器の製造、修理、リユース・リサイクル

稼働時期

2019年10月

タイ第2工場

事業内容

複合機、プリンタ、車載関連製品の基板実装

稼働時期

2019年12月

EMS事業の競争力強化策-②：ものづくり力の強化

十和田パイオニア㈱（現加賀EMS十和田）買収により、エレクトロニクス専業メーカーとして長年培ってきた同社の「ものづくり」のノウハウ、優秀な生産系人財と生産設備、治具設計、品質保証体系など有形無形の資産を共有することで、EMS事業の品質レベルの一層の向上、競合他社との競争優位性を強化します。
そして、同社をEMS事業の“マザー工場”と位置付け、海外拠点との連携、全体最適化を推し進め、経営体質の強化と事業効率の向上を図ります。

加賀EMS十和田

事業内容

車載用電子機器、医療機器の基板実装および完成品組立て

買収時期

2019年10月

EMS事業の競争力強化策-③：製造設備の自社開発

中国の大手設備メーカーと合弁で、製造設備の開発/設計/製造を行うことで、圧倒的なコスト競争力に加えて、高品質で高信頼性な基板実装のトータルソリューションをお客様にご提供します。

HATTEN設備ご紹介

HATTEN

① 局部半田槽

■ 製品群

①1ヘッド機 ISF-300
②2ヘッド機 ISF-450-II
③4ヘッド機 ISF-450D
④4ヘッド機 ISF450-4H
局部半田槽高速版
⑤局部フラックス塗布機

② 表面実装機

■ 製品群

①CPM H2
チップ部品実装
②CPM F2
異形部品実装
③CPM/FH
小型チップ部品実装
④HATTENライン
※加賀路遠量産中

③ 検査機

■ 製品群

①3D SPI
クリーム半田測定
②SMT後AOI機
実装部品外観検査
③半田槽前S-AOI
手差し部品検査
④半田槽後AOI
半田上がり検査
部品浮き検査

④ 垂直高温炉

■ 製品群

①Coating硬化炉
Coating後完全硬化
②Potting硬化炉
Potting後完全硬化
③高温老化試験炉
完成品高温老化試験

サステナビリティ中長期経営計画

（2021年11月25日公表資料より抜粋）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サステナビリティ方針

加賀電子グループは、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「持続的なグループの成長」の両立を目指します。
その取り組みにあたっては、「CSR基本方針」「環境方針」ならびに「行動規範」に基づき、お客様、取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上を目指します。

① 事業活動を通じて環境課題に取り組みます

事業活動を通じて、CO^2排出量の削減、廃棄物の削減と再利用の推進に取り組むとともに、環境に配慮した製品およびサービスを提供することで、地球環境を大切にする社会の実現に貢献します。

② 人権を尊重し、人財を育成します

性別や年齢、国籍や社会的身分、障がいの有無など個人の属性に関係なく、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。また、多様な従業員が心身ともに安全且つ健康に働ける職場環境や個々の能力を最大限発揮できる人事制度・教育研修体系を整備し、イノベーションに挑戦する人財づくりに取り組みます。

③ 社会との相互信頼の確立を目指します

法令や規則を遵守し、公正な競争、高品質な製品およびサービスの提供、適時適切な情報開示など、誠実な企業活動を実践するとともに、ガバナンス体制の強化を図ることで社会から信頼される企業を目指します。

マテリアリティ（重要課題）の特定

加賀電子グループは、世界および当社が直面するさまざまな課題や社会からの要請に真摯に向き合い、「E：環境」「S：社会」「G：ガバナンス」ならびに「B：事業」の4つの観点から、当社の経営にとってインパクトの大きい重要課題を以下の通り特定しました。これらのマテリアリティの取組みを通じて、持続可能な社会の実現に寄与する企業活動を実践し、さらなる企業価値の向上を推進していきます。

	マテリアリティ	関連するSDGs	経済・社会情勢の変化	取組み課題
E	**クリーンな地球環境を作る**		● 地球温暖化・環境問題の深刻化 ● カーボンニュートラルへの要請	● 環境・エネルギー問題に貢献する製品およびサービスの提供 ● 環境負荷低減に向けた取り組みの継続
S	**働きやすい会社、豊かな社会を作る**		● ニューノーマルに向けた社会構造の変化 ● 少子高齢化による人材の逼迫	● ニューノーマルに相応しいダイバーシティおよび働き方の促進 ● 加賀イズムの継承・発展による人財育成
G	**持続可能な経営基盤を作る**		● コーポレートガバナンス強化への要請 ● 環境変化に耐えうるレジリエンスの実現	● ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化 ● 利益重視経営の徹底
B	**持続的な事業成長を実現する**		● デジタルトランスフォーメーションの進展 ● IoT・AIなどICTの普及による超スマート社会の到来 ● グローバル競争の激化	● デジタル化社会に貢献する製品およびサービスの提供 ● 社会課題解決に貢献する新規事業創出 ● グローバル展開のさらなる促進

サステナビリティ中長期目標と主なKPI

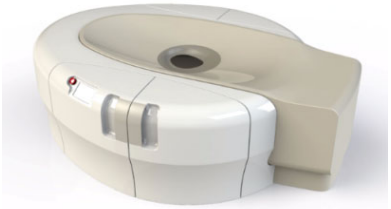
	主なテーマ	取組み課題・検討課題	中期目標	長期目標
E	**再生可能エネルギー100%化の実現**	● 国内営業拠点における再エネ導入	2024年:40% (1%)	2030年:100%
		● 国内製造拠点における再エネ導入	~2024年:情報収集・分析及び方針決定 • 自家発電/外部調達 • 太陽光パネル/バイオマス発電/再エネ事業者	2030年: 50% 2050年:100%
		● 海外製造拠点における再エネ導入		2030年: 30% 2050年:100%
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、FCV)への切り替え	2024年:85% (78.5%)	2030年:100%
S	**ダイバーシティと人財マネジメント**	● 中核人財の多様性確保（女性、外国人、中途採用） ● 高齢者・障がい者雇用の取り組み	<女性新卒総合職比率> 2023年:30% (5.8%) <女性管理職比率> 2024年:15% (13.3%)	<女性新卒総合職比率> 2028年:40% <女性管理職比率> 2029年:17%
	「ワークライフ・マネジメント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど各種制度拡充 ● 健康経営優良法人の認定取得	2022年:各種制度拡充 2023年:認定取得	2025年:外部認定取得 2024年~認定継続
G	**CGコード改訂・東証再編に対応したガバナンス体制の再構築**	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置	2021年6月実施済み	次期CGコード改訂に応じて目標設定
		● 取締役会の多様化	~2022年6月:方針決定	
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	2021年11月実施済み	
	経営の監督機能・執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入	2022年4月:施行	
		● 「委員会等設置会社」への移行	~2023年3月:方針決定	

※( )内は現状値

事業を通じたサステナビリティへの取り組み

医療機器 × QOL

移動式CTスキャナー



乳がんCTスキャナー

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

障がい者支援 × ウェアラブル端末

オンテナ（Ontenna）

11 住み続けられるまちづくりを

ケアサポートシステム

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

グリーンキャパシタ

高齢化社会 × 見守りシステム

ブレイクスルー × 次世代蓄電デバイス

2022年3月期第3四半期決算

（2022年2月3日公表資料より抜粋）

2022年3月期第3四半期　サマリー

2022年3月期 第3四半期実績		● **売上高は、主力の電子部品事業が牽引**。国内外の製造業における生産活動の回復、旺盛な部品需要を取り込み、**大幅増収**。 ● **営業利益は、**売上増に伴う売上総利益増、テレワーク促進や経費の縮減・抑制に継続して取り組み**大幅増益**。第３四半期として**過去最高益**。 ● **四半期純利益**は、前期に特別利益として計上した企業買収に伴う**「負ののれん発生益（79.6億円）」の解消により減益。**
主なセグメントの概況	電子部品	・部品販売ビジネスは、電子部品の需給逼迫が長期化する中、**独立系商社の強みを活かして物量確保を最優先に取り組み、好調持続。** ・EMSビジネスは**車載や産業機器、医療向けが好調。**
	情報機器	・**セキュリティソフトなどPC周辺機器は好調**も、パソコン製品は**リモートワーク需要の一巡、部品不足による製品供給難の影響により低調。** ・LED設置ビジネスは、**資材調達難により工期が延伸し低調。**
2022年3月期 業績予想		● 売上、利益とも2Q発表予想を上回る見通しとなり、**今期2回目の上方修正。** ● **営業利益は3期連続、当期純利益も増益予想に転じて2期連続で最高益更新。** ● 「中期経営計画2021」の**営業利益目標（130億円）は超過達成。**
株主還元		● **期末配当**は、業績予想の修正を勘案し20円増配、**1株当たり65円に修正。** ● 中間配当と合わせた**年間配当は1株当たり110円、前期比30円増配**を予定。

2022年3月期第3四半期 業績ハイライト

（単位：百万円）

	2021/3期 3Q実績		2022/3期 3Q実績		前年比	2022/3期 業績予想（2021年11月4日発表）		進捗率
売上高	294,266		352,684		19.9%	470,000		75.0%
売上総利益	33,646	11.4%	42,761	12.1%	27.1%	—	—	—
販売費及び一般管理費	26,129	8.9%	28,102	8.0%	7.6%	—	—	—
営業利益	7,517	2.6%	14,658	4.2%	95.0%	15,000	3.2%	97.7%
経常利益	7,230	2.5%	14,886	4.2%	105.9%	14,500	3.1%	102.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,728	4.3%	10,414	3.0%	▲18.2%	9,000	1.9%	115.7%
EPS	463.49		387.76			336.84		
為替レート 米ドル	106.11		111.10			–		

参考

2022年3月期第3四半期　中計セグメント別業績

（単位：百万円）

		2021/3期 3Q実績		2022/3期 3Q実績		前年比
電子部品	売上高	181,913		232,869		28.0%
	セグメント利益	1,657	0.9%	7,772	3.3%	369.1%
EMS	売上高	70,216		84,595		20.5%
	セグメント利益	3,890	5.5%	5,463	6.5%	40.4%
CSI	売上高	33,937		26,301		▲22.5%
	セグメント利益	1,753	5.2%	1,216	4.6%	▲30.6%
その他	売上高	8,199		8,918		8.8%
	セグメント利益	126	1.5%	129	1.5%	2.0%
合計	売上高	294,266		352,684		19.9%
	セグメント利益	7,517	2.6%	14,658	4.2%	95.0%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

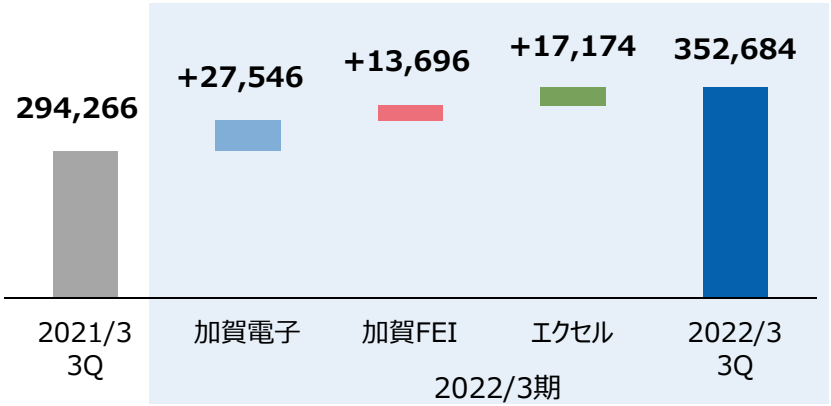
2022年3月期第3四半期　M&Aの影響

＊エクセルの2021/3期3Q実績には同社海外子会社の2020年1-3月期実績を含まず

（単位：百万円）

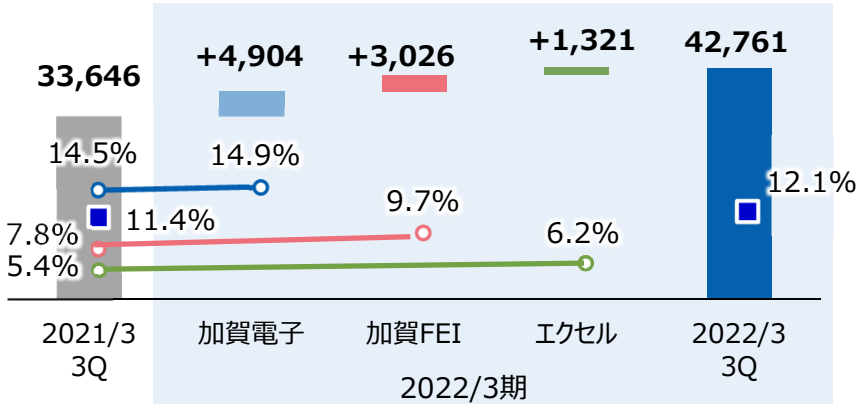
売上高

3社ともに増収。前年エクセルは海外子会社1-3月期が非連結＊



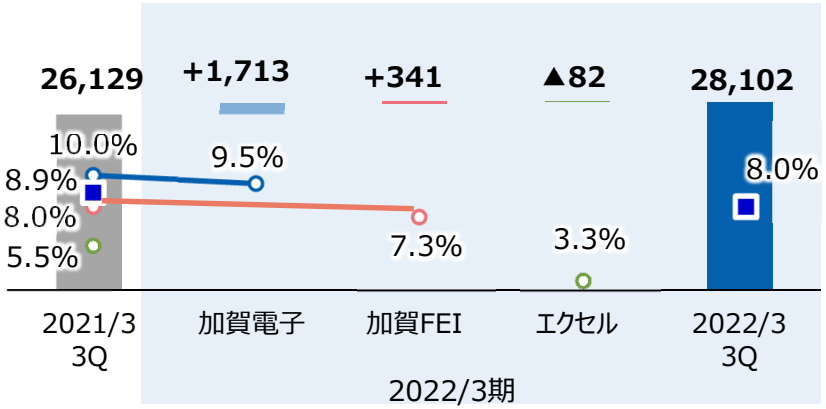
売上総利益 / 売上総利益率

売上増に伴う利益増、利益率改善により３社ともに増益。



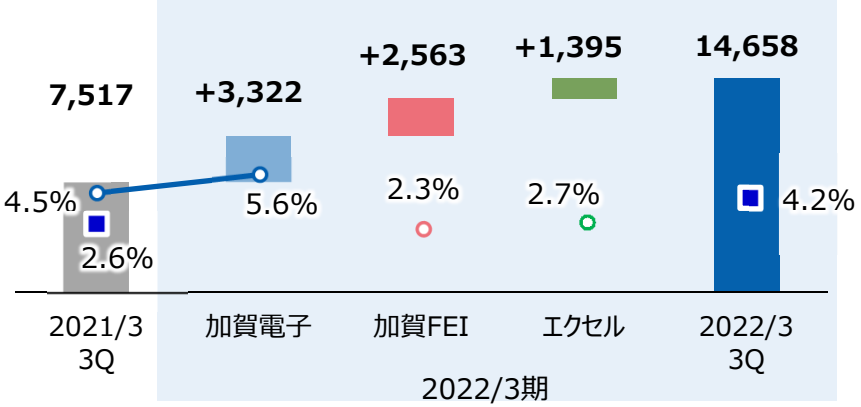
販管費 / 販管費率

売上増に伴い経費増となるも、販管費率は3社ともに低下



営業利益 / 営業利益率

加賀電子は利益率大幅上昇。加賀FEI、エクセルは黒字転換



（注）売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は▲152百万円、営業利益は▲136百万円です。

2022年3月期第3四半期　会社別業績

（単位：百万円）

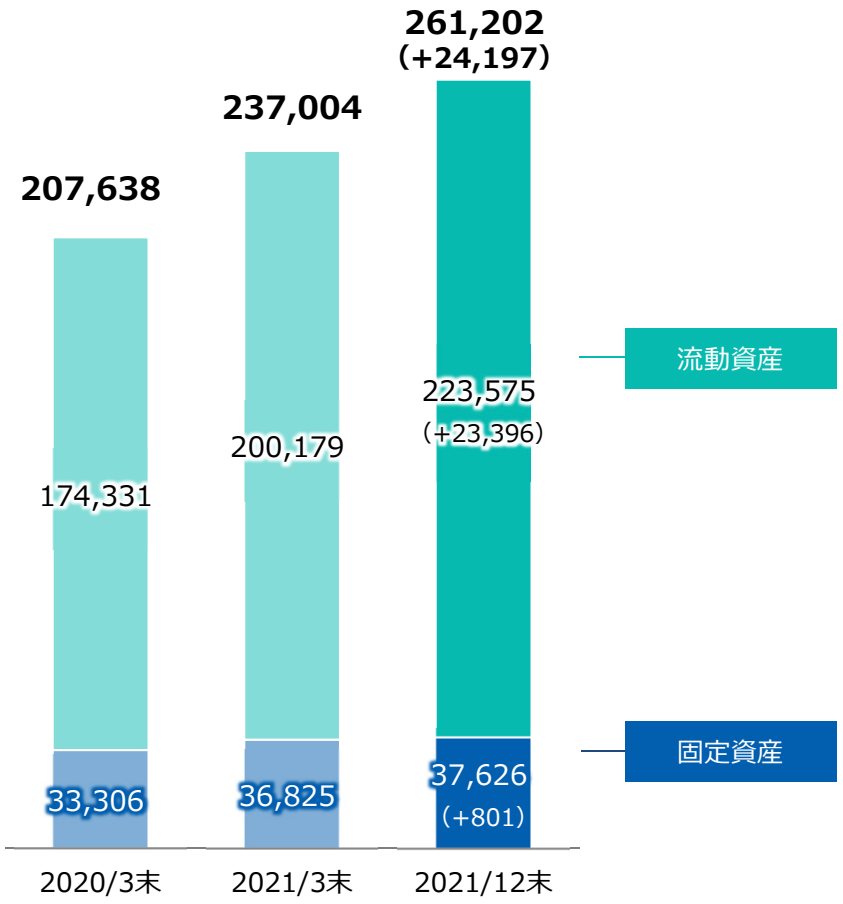
		2021/3期 3Q実績		2022/3期 3Q実績		前年比
加賀電子	売上高	171,474		199,021		16.1%
	売上総利益	24,784	14.5%	29,689	14.9%	19.8%
	営業利益	7,778	4.5%	11,100	5.6%	42.7%
加賀FEI	売上高	92,420		106,117		14.8%
	売上総利益	7,243	7.8%	10,270	9.7%	41.8%
	営業利益	▲ 143	▲0.2%	2,419	2.3%	—
エクセル	売上高	30,371		47,546		56.5%
	売上総利益	1,632	5.4%	2,953	6.2%	81.0%
	営業利益	▲ 121	▲0.4%	1,274	2.7%	—
合計	売上高	294,266		352,684		19.9%
	売上総利益	33,646	11.4%	42,761	12.1%	27.1%
	営業利益	7,517	2.6%	14,658	4.2%	95.0%

（注）売上総利益および営業利益については、３社間での連結調整前の数値を記載しております。

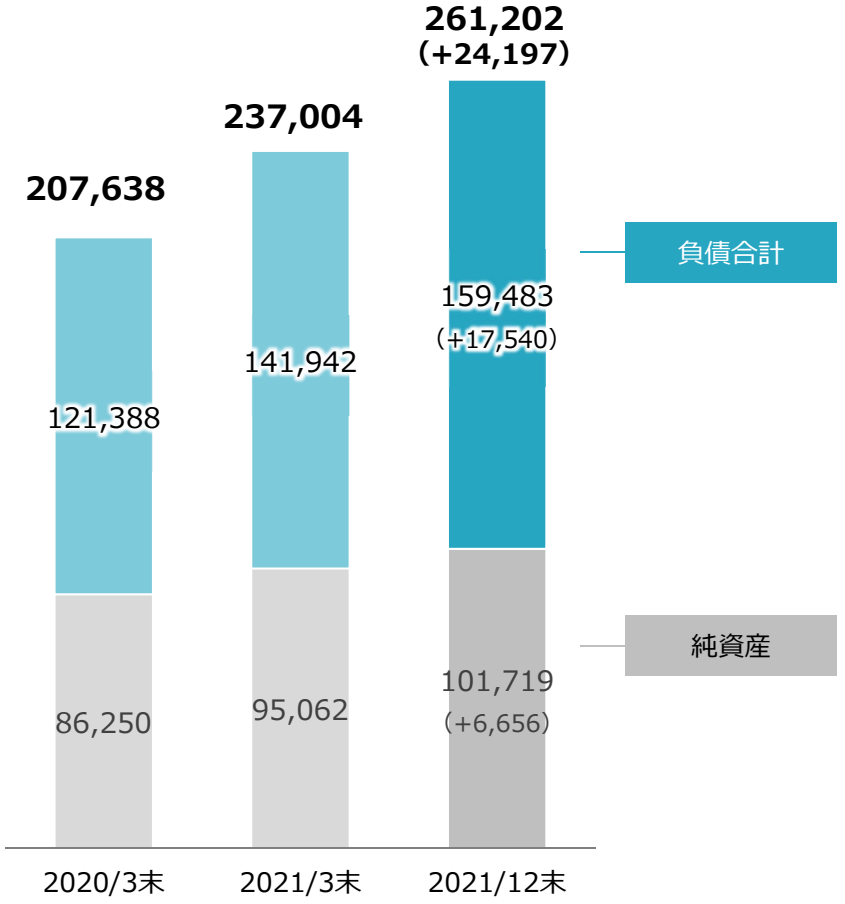
貸借対照表主要項目

（単位：百万円）

資産



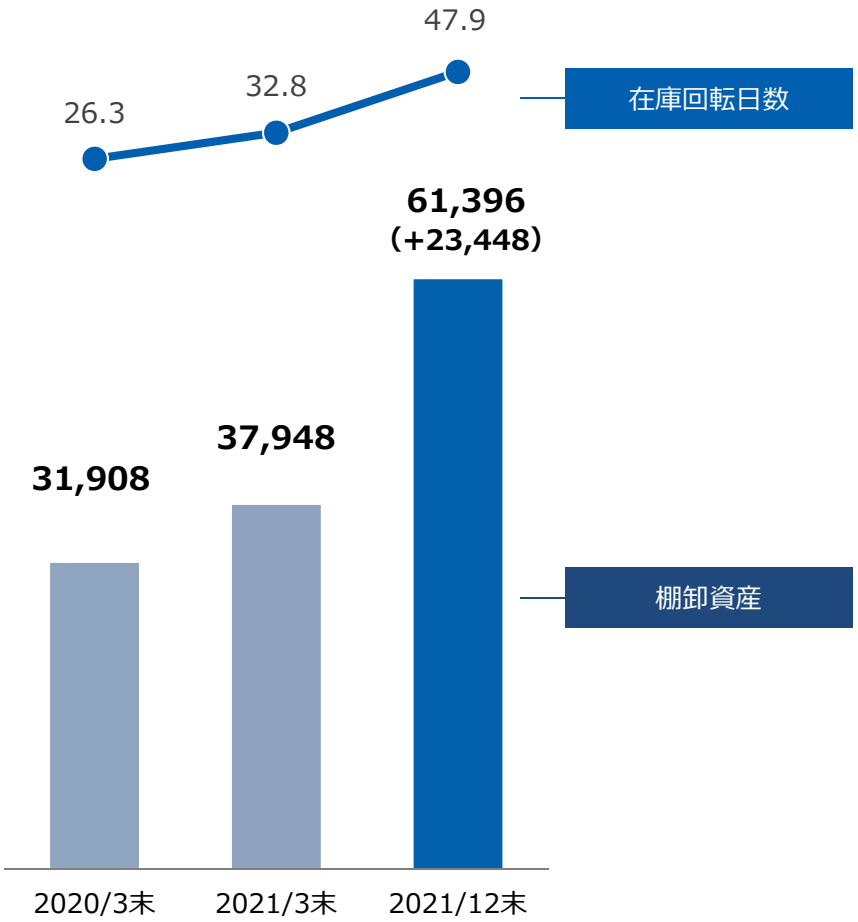
負債・純資産



貸借対照表主要項目

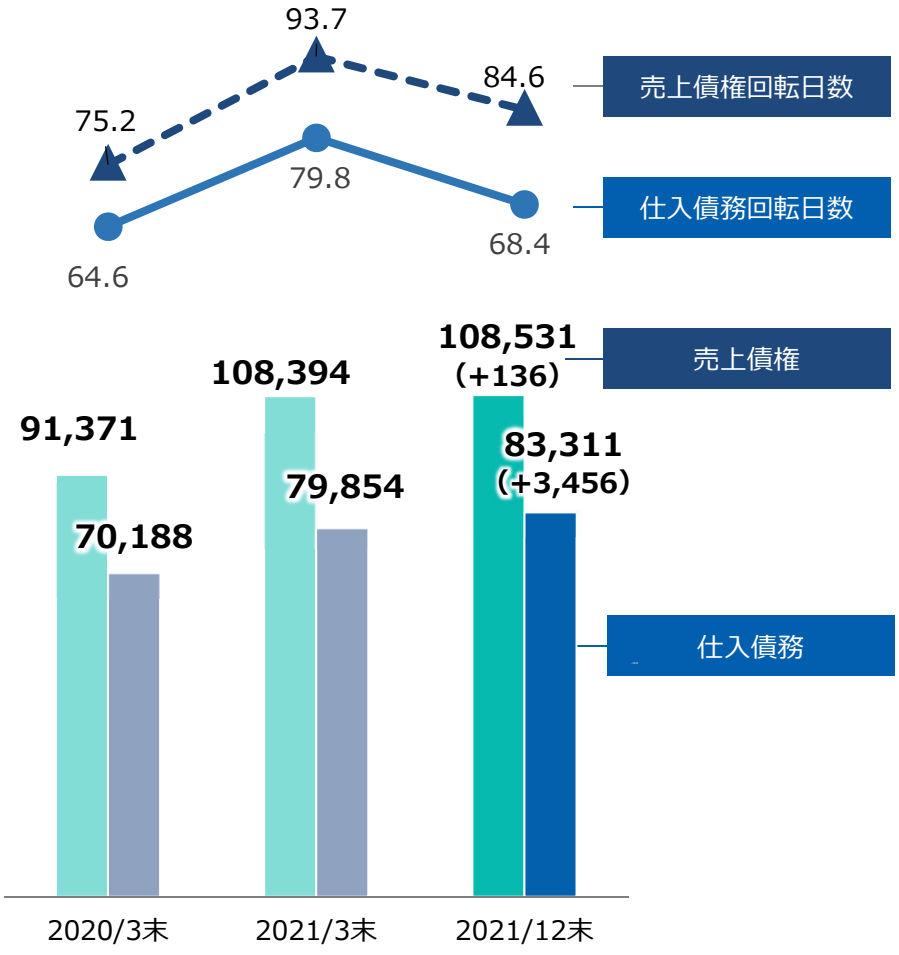
（単位：百万円、日）

棚卸資産



注： 在庫回転日数 ＝ 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365（12末は275）

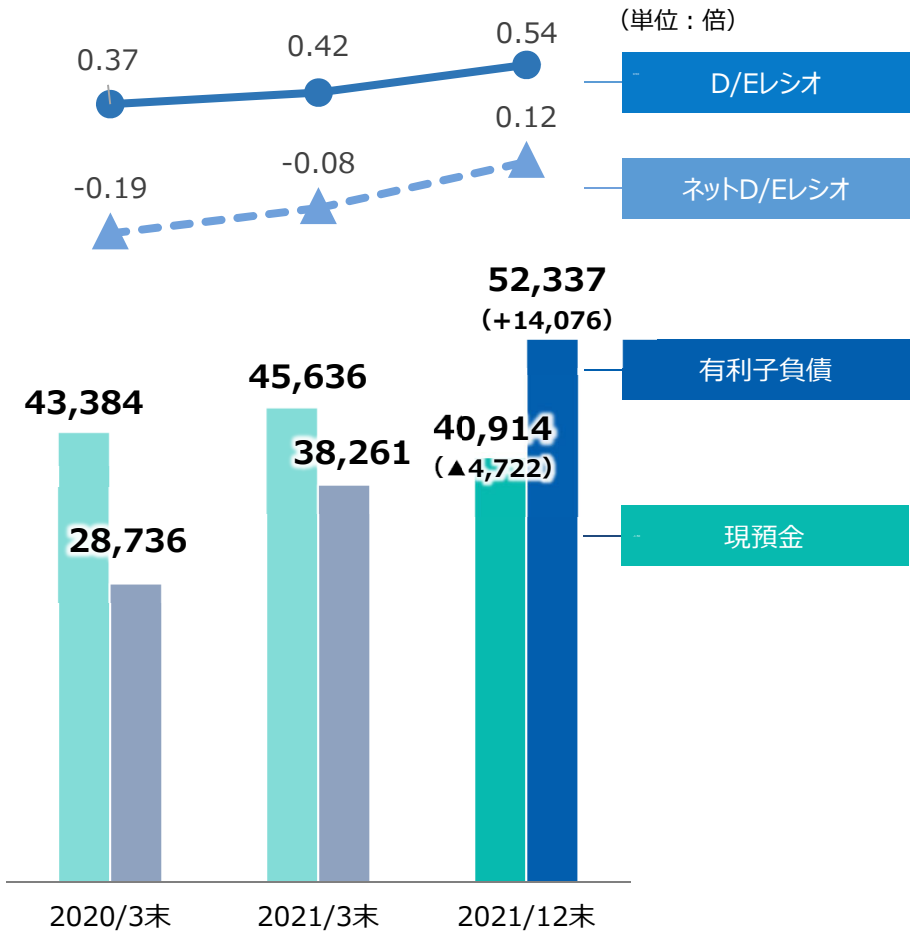
売上債権･仕入債務



注： 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。
支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。
売上債権回転日数 ＝ 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365（12末は275）
仕入債務回転日数 ＝ 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365（12末は275）

貸借対照表主要項目

現預金・有利子負債



注： D/Eレシオ　　＝ 有利子負債 ÷ 自己資本
ネットD/Eレシオ ＝（有利子負債－現預金） ÷ 自己資本

加賀電子

2022年3月期　通期業績予想

（単位：百万円）

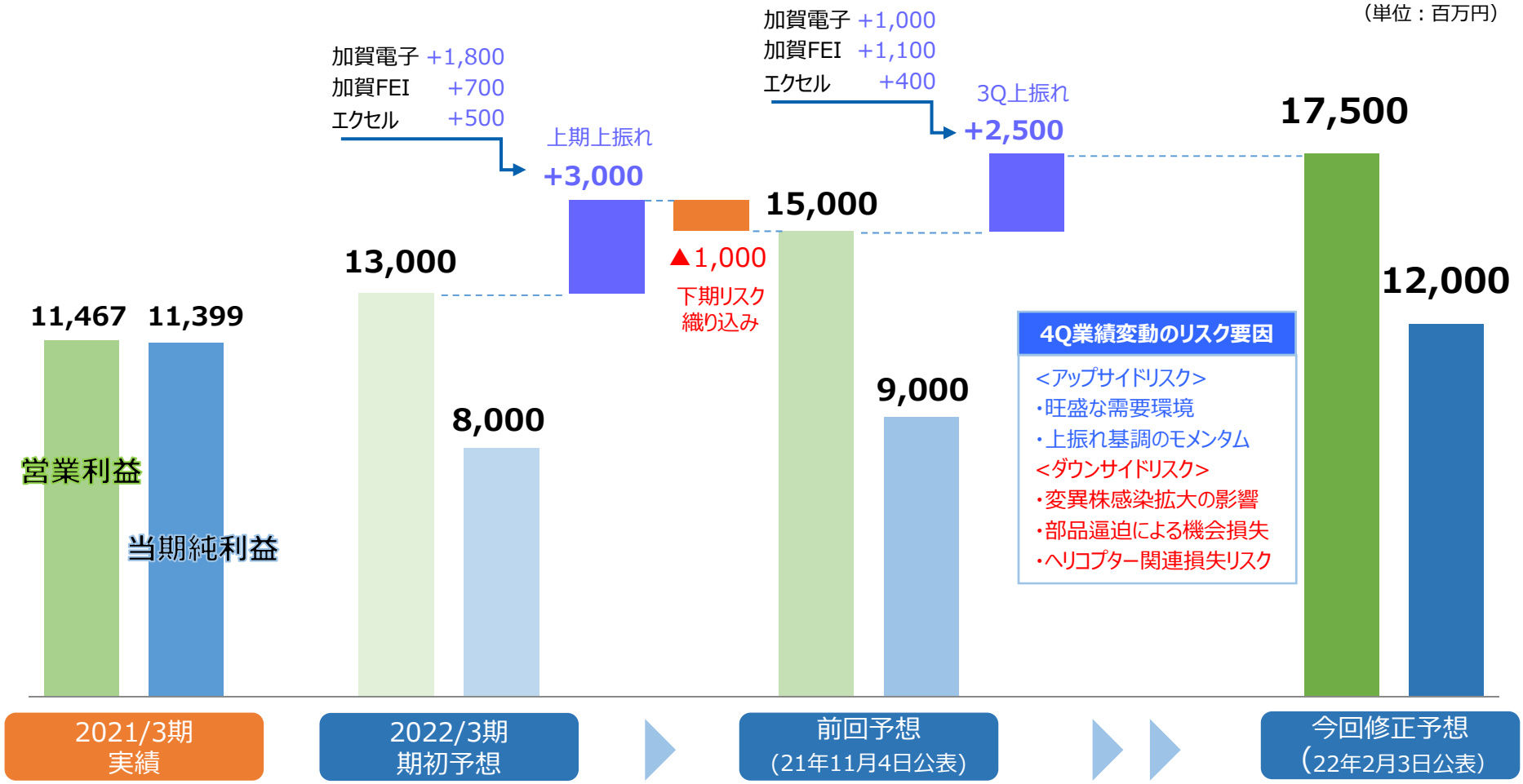
	2021/3期 実績		2021/3期 前回予想		2022/3期 今回修正予想		前回予想との差異	前年比	中期経営計画 経営目標	
			（2021年11月4日公表）							
売上高	422,365		470,000		475,000		1.1%	12.5%	500,000	
営業利益	11,467	2.7%	15,000	3.2%	17,500	3.7%	16.7%	52.6%	13,000	2.6%
経常利益	11,241	2.7%	14,500	3.1%	18,000	3.8%	24.1%	60.1%	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	11,399	2.7%	9,000	1.9%	12,000	2.5%	33.3%	5.3%	—	—
EPS	415.07		336.84	—	449.13	—	–	8.2%	—	—
ROE	13.5%		9.7%	—	12.3%	—	2.6pt	▲1.2pt	8.0%以上	—

注：2022年３月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

2022年3月期業績予想　営業利益/当期純利益の上方修正

- 今期2回目の上方修正。営業利益は3期連続、当期純利益は2期連続で最高益更新の見通し。
- 営業利益は、3Q累計での上振れを織り込む。4Qはアップサイド/ダウンサイドのリスクはニュートラルの前提。
- 当期純利益は、営業利益の上振れを受けて、減益予想から増益に転ず。

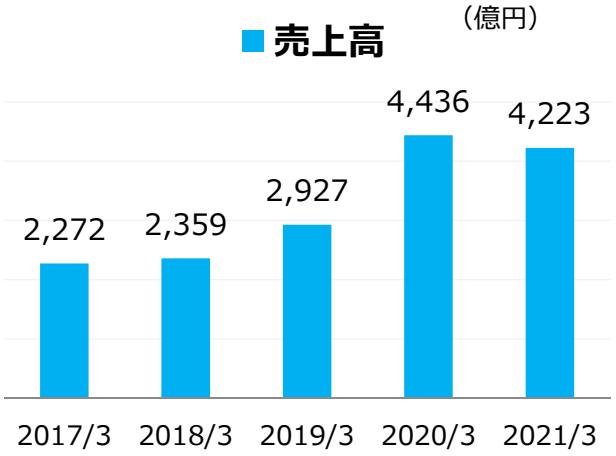
（単位：百万円）

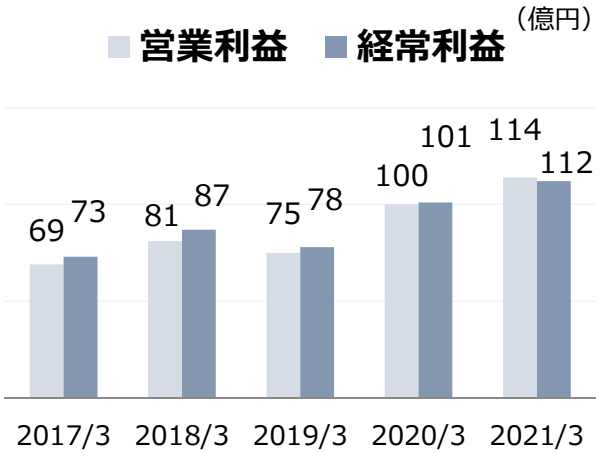


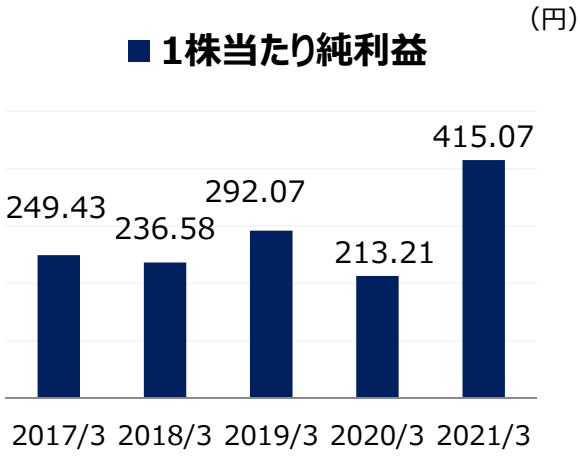
最後に

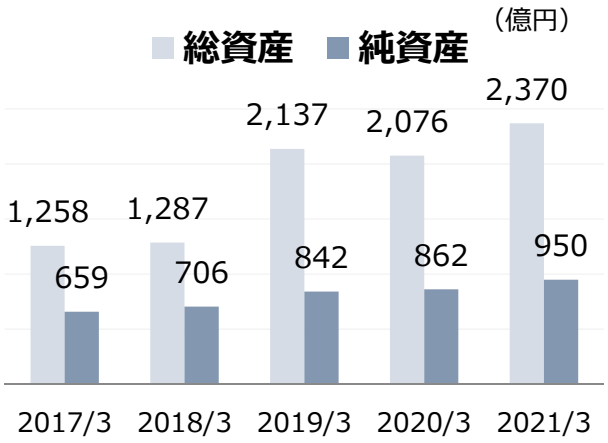
参考

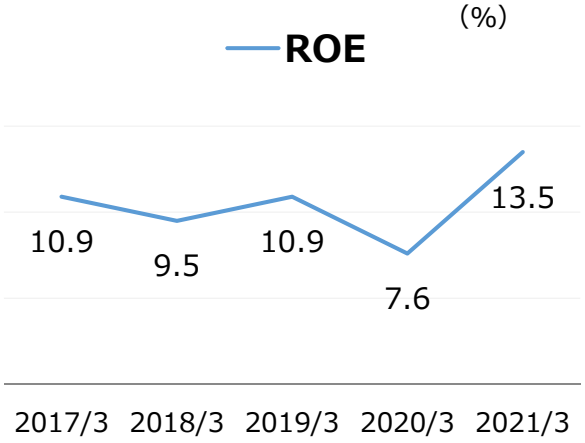
業績ハイライト：過去5年

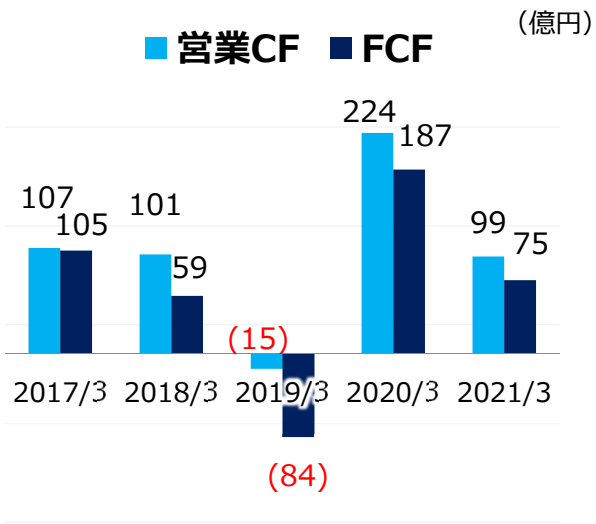












その他IR情報のご案内

●IRサイト

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/

●統合レポート2021

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/ir_library/library_09.html

●「IR情報配信サービス」へのご登録

https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html

『すべてはお客様のために』

加賀電子株式会社

問合せ先：IR･広報室
〒101-8629　東京都千代田区神田松永町20番地
TEL:03-5657-0106
FAX:03-3254-7133
E-mail：webmaster@taxan.co.jp
https://www.taxan.co.jp

■　将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および
合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■　本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入　　比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入